

1. 地域経済と課題

- (1) 唐津中央商店街が令和5年3月末をもって解散、昭和48年創立なので50年の歴史に幕を下ろした。ただ、中心市街地の活性化の課題はまだ多く残されている。唐津市史の昭和48年を見ると「殿様商法」の弊害が指摘されている。各プレイヤーがこれからも連携して活性化を図る必要がある。
- (2) 毎月勤労統計2023.2（厚労省4月7日公表）では、現金給与総額は271,851円で前年同月比1.1%伸びているが物価の変動を考慮した実質賃金指数は前年同月比2.6%減で11か月連続減であった。唐津でも同様の傾向であると思われる。
- (3) まいづる999の第1期工事が竣工し、5月10日にプレオープンする。敷地面積29,000㎡、延床面積6,500㎡平屋で駐車場も十分に用意されている。店内にはイベント広場もあり様々な展開が期待されている、同社は今年創業90周年の節目の年である。多くの市外・県外のスーパーやディスカウントストアが進出しているなかでも堅調な業績を上げられている。
- (4) JR6社のGWの予約は22年比68%増、コロナ前の18年比92%に回復。6月6、7日に唐津で開催される九商連総会でも、政策要望案は「観光振興」を従来の「中小企業への支援」から別建てで協調している。商工会議所の様々な会議においても観光唐津の知名度の高さを実感する。

2. 経営相談(巡回・窓口)から見える地域経済と課題

- (1) 1月から3月までの第4四半期では巡回128件、窓口797件を行った。前期比、巡回件数は15.7%減、窓口件数15.4%減である。年度末にかけて補助金や助成金も落ち着き、巡回および窓口件数が減少した。
- (2) 佐賀県はコロナや原材料等高騰で影響を受ける事業者に対し、新しいチャレンジを支援する補助金の2次公募中。当所では公募要領を説明し、事業計画の策定の支援を行っている。申請期限は5月19日まで。
- (3) 佐賀県は円滑な事業承継に向けた商品開発や設備投資の支援のため事業承継円滑化支援補助金を募集中。当所では事業承継に係る各種相談に対し専門員と共に支援を行っている。申請期限は6月9日まで。
- (4) SAGA2024 国スポ全障スポ市実行委員会は市内の郷土品や飲食物のリハーサル大会での売店出店者を募集中。地域の特産物等の紹介及び販売を行う良い機会である。今後も市内施設で予定されている各競技に対して随時募集される予定。

3. LOBO 調査(早期景気観測)&中小企業景況調査**(1) LOBO 調査【令和5年4月調査】**

業況DIは、経済活動の回復により、全業種で改善。先行きは、コスト増や人手不足等で慎重な見方。

- ・全産業合計の業況DIは、▲11.1（前月比+3.7ポイント）

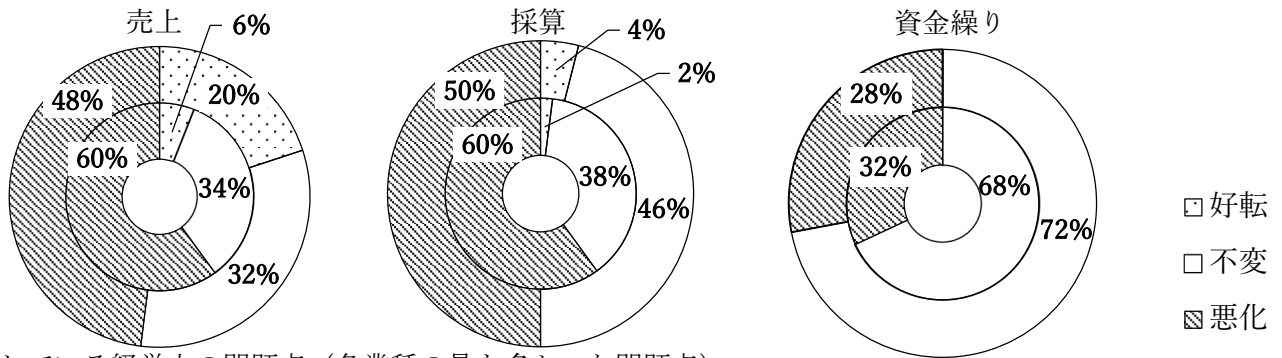
全国：サービス業では、客足が回復基調な飲食・宿泊業を中心に、改善した。小売業では、インバウンドの増加で売上が好調な百貨店に下支えされ、改善した。また、製造業では、サービス業等の非製造業での設備投資需要の回復で改善し、卸売業でも、製造業からの引き合い増や、客足が回復する小売業や飲食・宿泊業からの受注増で改善した。建設業でも、政府の補正予算による公共工事の受注増で改善した。原材料・エネルギー価格の高騰や人材確保に向けた賃上げ等のコスト負担増、度重なる仕入価格の高騰に価格転嫁も十分に行えていない等、経営課題は山積も、経済活動の回復が続き、業況は2021年12月ぶりに全業種で改善した。

九州：5月8日のコロナの5類移行に伴い、経済活動のさらなる回復による売上改善を期待する声が小売業・サービス業を中心に多く聞かれた。一方、原材料価格の高止まりやエネルギー価格の高騰継続によるコスト負担増や、人手不足による受注機会の損失が懸念される。また、コスト増に見合う価格転嫁も十分に追いついていない中、海外経済の鈍化など、先行きへの不安は根強く、慎重な見方となっている。

(2) 中小企業景況調査【令和5(2023)年1月～3月調査】

円グラフの外側：前年同期（2022年1～3月）と比べた今期（2023年1～3月）の状況

内側：前々年同期（2021年1～3月）と比べた前年同期（2022年1～3月）の状況



直面している経営上の問題点（各業種の最も多かった問題点）

製造業：需要の停滞

卸売業：仕入単価の上昇

サービス業：材料等仕入単価の上昇

建設業：従業員の確保難

小売業：仕入単価の上昇

→依然として原材料単価等の仕入れが上昇している中で、特に建設業では人員確保が問題となっている。

4. 唐津の街のトピックス

- 中心部のイベントが盛んだ。①3月12日㊦「唐津STEAM day!」（主催：唐津Returnプロジェクト）、①「唐津まちなか文化祭」（主催：まちなかカンパニー）②4月2日「唐津でがばいVINちゃん」、③4月10日「風土 FOOD LUNCH(舞鶴荘プレミアムな屋外レストラン)、④4/29～5/5「唐津やきもん祭り～食と器の縁結び」など。
- 唐津海上技術学校が令和6年度から短大に。社会人も受け入れる。卒業生は就職100%の実績。海の街・唐津のいっそうの発展につながることを期待。
- 福岡の「(一社) Art&Life」は九電の協力を得て4月1日「唐津FANの、唐津FANによる、唐津FANのためのシーズンalツアール（桜テーマ）」と称して唐津の街歩き。参加メンバーには福岡商工会議所の職員の姿も。唐津の地酒一升進呈。
- シアターエンヤが3月26日に152人の来場。特典クーポン等で商店街の活性化にも貢献。映画と云えばJR九州の唐池相談役の「私の履歴書」㉑（日経2023.3.30）「50歳からは映画鑑賞に没頭した。何事も徹底する性格なので年に100本は見たと思う。映画からは新列車のアイデアなど仕事のヒントを得られた」とある。
- 人手不足の影響がじわじわと広がっている。以前から人手不足で閉鎖中の唐津バーガー中町店に加え、飲食ではI亭が3月末で閉店、美容Pには時々「本日、スタッフ不足で時間がかかっております」の表示がかかっている。人手不足での飲食店等の臨時休業も目立つ。
- 身近なところでDXが取り入れられている。済生会病院唐津は医療費の会計に1月31日から自動精算機が活用されている。現金、クレジットカードともに使える。人手不足の中ではこうした対応が求められている。アメリカでは、もっと進んでいて登録しているクレジットカードから自動引き落としされるとのこと。
- 「ひら田」が移転した後しばらく空いていた店舗に「聴雪庵」が5月10日に開業する予定。日本料理のコースのみ。新たなお店が食の街・唐津の評判を高めることが期待される。
- 毎日新聞唐津通信部が本年4月30日をもって閉鎖。同紙は唐津の情報を丁寧に発信して頂いたので閉鎖は残念至極。峰下記者の最後の記事は4月22日「『唐津』PR強め夏に演屋祭」。30日「やきもん祭り原点回帰」。私たちが激励記事に応える努力が求められる。
- 国際ロータリー2740地区の2025-2026年度のガバナー候補に辻幸徳氏（唐津RC）が指名された。氏は唐津商工会議所の常議員を長くつとめていただいている。

唐津商工会議所では、『KCCI 地域経済四季報Eクォーター』を発行します。市内の商工業、街づくりについての情報をお待ちしています。唐津商工会議所 TEL：72-5141 FAX：72-5146 Email：kcci@karatsu.or.jp